

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

兵庫県神戸市

自治体名： 兵庫県神戸市

担当課名： 教育委員会事務局児童生徒課（コベカツ推進）

電話番号： 078-984-0728

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	552.3km ²
人口	1,486,038人
公立中学校数	82校
公立中学校生徒数	32,633人
部活動数 (運動部活動のみ)	814部活
地域クラブ活動数	約1,100クラブ 先行実施：18クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

本市では、指導経験がない教員に代わって専門的な指導ができる部活動指導員を平成10年度から導入し、教員の負担軽減と、部活動の質の向上・充実を図ってきた。しかし、既存の部活動全てを顧問に変わって維持することや子供たちの多様な活動ニーズを満たすような部活動指導員を全市的に確保していくことは困難である。【参考：外部指導員登録人数（令和7年度）：560人（活動人数：342人）】

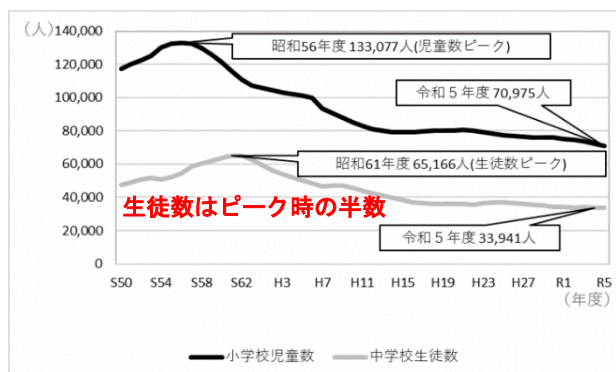
子供たちの多様なニーズに応じた活動を選択できるようにするためには、学校にある部活動の中から選択する現在の仕組みではなく、校区や時間にとらわれず、参加する活動を選択できる仕組みが必要である。

●部活動を取り巻く状況

1. 部活動の選択肢が少ない・選べない
学年ごとに種目や部活数にバラつきがある、少子化による廃部・休部の加速
2. 部活動に起因するトラブルの増加・人間関係のトラブル、苦情、ケガの対応等負担が増大
教員不足が深刻化する中で教員が顧問を担う仕組みは限界
3. 生徒・保護者の意識の変化
生徒・保護者のニーズはより「楽しむこと」に変化
ダンス、料理、釣り、e-スポーツ等部活動種目にはない活動の希望が多い

現在の年齢別人口から、今後10年間で中学生が約1万人減少する（現状の3分の2になる）と予想されており、廃部・休部は急激に加速することが見込まれる。子どもたちが将来に渡って主体的に選択し、多様な活動に参加できる機会を確保していくため、2026年8月に部活動を終了し、コベカツを開始できるよう、取組を進めている。

【小学校児童数及び中学校生徒数の推移】



神戸市学校園調査より

【中学校における小規模校・大規模校の推移】

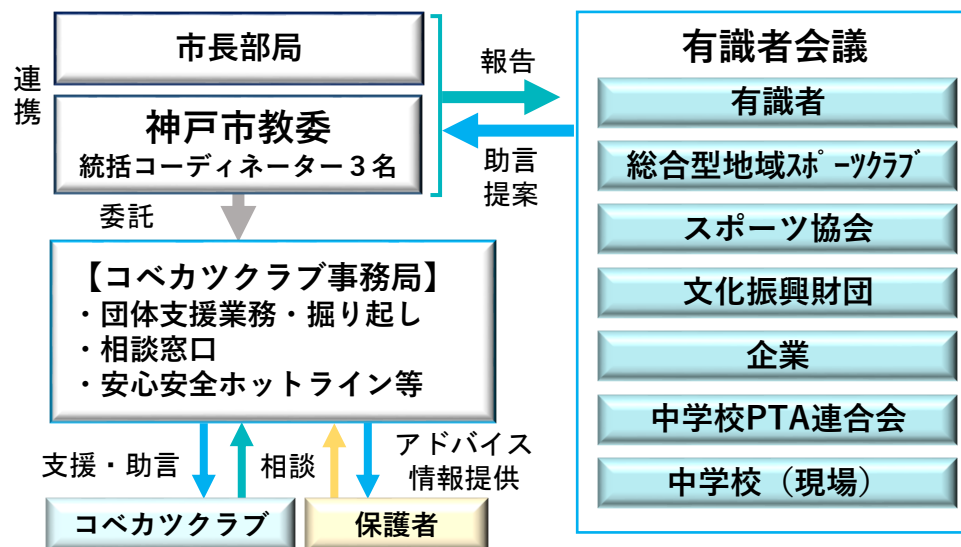
	1986年度 (昭和61年) 生徒数ピーク時	2025年度
小規模校	5校	20校
大規模校	43校	9校

年々小規模校が増加している

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（児童生徒課）

・部活動が教育の一環として取組まれてきた経緯や中学校との連携の必要性を踏まえ、教育委員会が地域展開を推進。政策検討、広報、団体募集、立ち上げ支援、相談窓口、実証事業等を実施。

統括コーディネーターを3名配置し、学校との調整、活動場所の調整、環境整備、セキュリティを確保した校舎の導線確認を実施

◎文化スポーツ局（スポーツ企画課・神戸市スポーツ協会）

- ・教員に頼らない大会の検討
- ・競技団体、総合型地域スポーツクラブ等つながりのある団体へ情報提供等

年間の事業スケジュール

令和7年6月	「部活動の地域移行のあり方検討委員会」（有識者会議）開催 人材バンクの設置 ・指導者を探している団体の募集 ・指導を希望する人材（教員・部活動指導員）をマッチング 活動の掘り起こし ・各地域団体への協力依頼 ・コベカツの説明会の実施 等 第2次募集開始等に関する教育長会見
7月	活動場所の学校との調整 実証事業の調整 第2次募集審査
8月	実証事業の実施内容の公表
9月	実証事業開始 第2次募集結果の公表 中学1年生を対象としたアンケート実施（参加したい活動の有無等）
11月	第3次募集の開始
令和8年1月	コベカツクラブ活動紹介HP公開
2月	次年度の取組・第3次募集結果の公表・「コベカツ推進条例」制定に関する市長・教育長会見

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		18クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）	1クラブ（サッカー 部活動）	
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数	17クラブ	
全体の指導者数	74人	全体の運営スタッフ数	81人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
スポーツライミ ングクラブ KOBÉ	NPO法人	スポーツラ イミ ング	・平日 週1回 (実施28回)	17時～19時	小学6年生 中学生 高校生	9月～3月	2人	2人	3,500円 /月 入会費 3,000円	地域クラブ
広陵サッカーク ラブ	任意団体	サッカー	・平日 週1回 (実施23回)	16時～18時	小学生 中学生	9月～3月	3人	2人 (内、兼務1人)	1,000円 /月 入会費 3,000円	地域クラブ
西神戸フェン シングクラブ	任意団体	フェンシング	・休日 週1回 (実施29回)	9時～12時	小学生 中学生 その他	9月～3月	4人	1人 (内、兼務1人)	8,500円 /年	地域クラブ
みんなのフライ ングディスク兵 庫	任意団体	フライング ディスク	・平日 月2回 第2、第3木曜 (実施2回)	18時～19時	小学生 保護者	9月～3月	3人	2人 (内、兼務2人)	300円 /1回	地域クラブ
アウトドアクラ ブ Base Camp MAYA	任意団体	登山	・平日 週1回 または休日週1回 (実施7回)	平日18時半 ～20時 休日9時～12 時	小学生 中学生 保護者	9月～3月	6人	2人 (内、兼務2人)	500円/ 月	地域クラブ

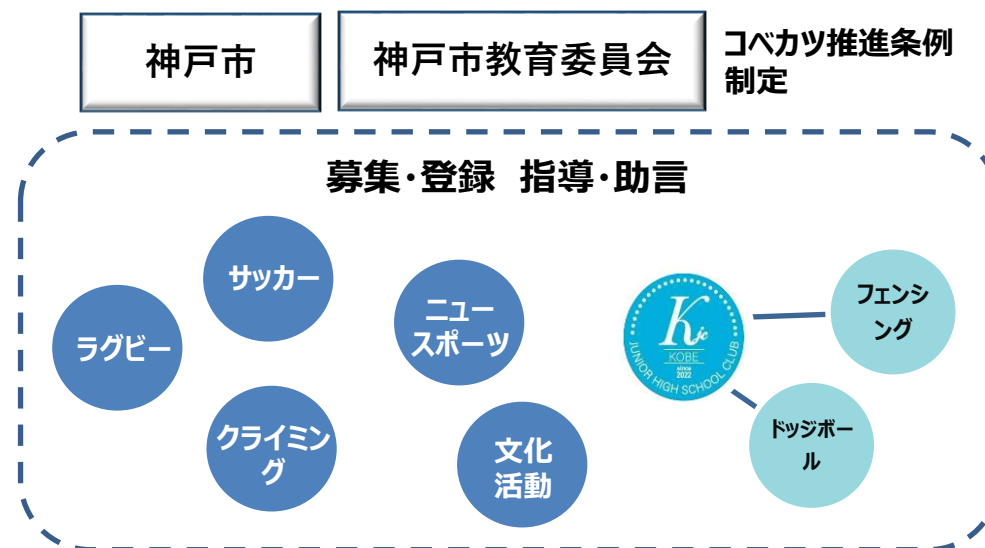
2.実証内容と成果

主な取組例

●KOBEジュニアハイスクールクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ドッジボール
運営団体名	KOBEジュニアハイスクールクラブ ドッジボール部
期間と日数	平日 週1回 毎週水曜日 (実施27回)
指導者の主な属性	有資格者 ドッジボールB級指導員、C級審判員
活動場所	垂水区 星陵台中学校 体育館
主な移動手段	公共交通機関、保護者の送迎
1人あたりの参加会費等 (年額)	入会費：3,000円 月会費：1,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年 ※ 生徒の保険料は神戸市負担

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●コベカツ実施における役割分担等（コベカツ推進条例に明記）

●自治体

役割：団体の募集・登録、活動についての助言・指導を行い、コベカツに対する市民の積極的な参画を図るために必要な措置を講じる。

●実施主体（コベカツクラブ）

役割：コベカツの実施を通じた生徒の健全な育成、地域社会への貢献並びに実施するコベカツの継続及び充実に努める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

【コベカツクラブ事務局の設置（2025年6月）】

- ・クラブの確保：クラブ運営の担い手となる地域団体、競技団体等へアプローチ及びクラブ立ち上げの働きかけ
- ・コベカツ人材バンクの設置・運用：指導者を求めている団体と指導を希望する教員・部活動指導員とのマッチング
- ・相談業務：生徒・保護者のコベカツへの参加に関する疑問や相談等を受け付ける「安心・安全ホットライン」の設置及びクラブの相談窓口の設置
- ・クラブ活動場所調整：各クラブが希望する活動場所・時間と中学校施設の利用可否の状況、他のクラブの希望状況を考慮した活動場所調整

【大会運営のあり方についての検討】

教員が担ってきた大会運営のあり方に関する関係者との協議

取組の成果

- ・クラブの確保：市内約1,200ある総合型地域スポーツクラブ、競技団体等へのクラブ立ち上げの働きかけ。・コベカツ人材バンクの運用：15クラブに対し、36名のマッチングを行った。
 - ・相談業務：「安心・安全ホットライン」保護者14名、クラブ相談388件受付。
 - ・クラブ活動場所調整：約600クラブに対する活動場所調整を実施し、82中学校に約1,000クラブの活動を登録
- ⇒第1次募集（2024年度実施）526クラブ、第2次・3次募集（2025年度実施）を経て、合計1,086クラブを登録
- ・市長部局、教育委員会、スポーツ協会、中学校体育連盟による大会運営のあり方検討及び競技団体、コベカツクラブ運営者との意見交換実施

今後の取組における課題

- ・クラブの継続性・充実を確保するための広報支援や指導者確保の支援
- ・生徒が安心してコベカツに参加するためのコベカツクラブ運営者への研修の実施の徹底、不適切指導等への迅速な対応
- ・生徒のニーズに応じた新たな活動団体の確保
- ・大会運営の主催者となり得る団体・人材の確保

課題への対応方針

- ・クラブの活動場所となる中学校における対面のクラブ活動紹介の実施、クラブ活動紹介掲示板の設置等
- ・コベカツクラブと中学校、教育委員会との適切な連携、「安心・安全ホットライン」への通報案件への迅速な対応による生徒の適正な活動環境の確保
- ・生徒のニーズに応える新たな活動団体の掘り起こし
- ・大会運営に協力いただけるコベカツクラブ運営者や各競技団体と連携した中学校体育連盟主催大会（総体・新人戦）の運営及び引継ぎ

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・82校ある中学校に約1,000クラブを登録。全ての中学校で活動できる施設（体育館・グラウンド・武道場・特別教室）を現認の上、中学校との協議を経て、活動場所の決定
- ・中学校における活動に必要なセキュリティ（鍵・シャッターの設置等）の検討
- ・中学校内における生徒及び指導者の活動場所への動線の検討
- ・活動に必要な環境整備（簡易照明・AED・備品・倉庫）の検討及び設置立ち合い

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- ・「コベカツサポート」の構築に向けた検討（2026年度予算化）
会費決済機能・保護者とクラブとの連絡機能等を備えたシステムを構築
保護者の負担軽減を図り、クラブへの参加を促進するため生徒1人1,500円/月（就学援助世帯3,000円/月）のポイントを付与
- ・コベカツクラブ管理システム構築のための検討（2026年度予算化）
活動場所・活動日時・会費等の変更をシステム上で完結する仕組みを構築し、事務局及びクラブの負担を軽減
- ・生徒が加入する「スポーツ安全保険」の教育委員会による一括申し込みの仕組みを構築
- ・「コベカツクラブ事務局」によるクラブ運営の助言等支援の実施
- ・コベカツクラブ運営者への情報提供のためのライングループの開設

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

- ・コベカツクラブ運営者・指導者が必須で受講する研修動画（ハラスメント防止、熱中症対策、安全管理、中学生への指導）の制作・配信、全関係者が受講していることを事務局として確認
- ・保護者・生徒の相談通報窓口である「安心・安全ホットライン」の設置
- ・適正なクラブ運営を行うためのツールの検討（規約・入退会届・事故報告・会計報告等）（2026年度順次提供）

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

- ・「コベカツクラブのあり方についての方針」（2024年度策定）において、事故の防止及び健康管理について明記
- ・各クラブに対する「救急搬送時対応マニュアル」の設置の周知
- ・事故発生時にコベカツクラブ事務局に第1報を迅速に報告できるようシステムの構築
- ・保護者・生徒の相談通報窓口である「安心・安全ホットライン」への通報案件に対し、必要に応じてクラブへの聞き取り等を実施
- ・生徒同士のトラブルに対し、必要に応じて中学校、教育委員会と連携した対応を実施

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組（実証事業（先行実施））

取組事項

2026年9月からのコベカツ本格実施に向けて、既存の部活動への影響を考慮し、規模や活動内容、活動頻度等を限定し、課題等を検証するため実証事業を実施

- ・活動数：18クラブ
- ・活動内容：ラグビー・サッカー・登山・料理・読書活動・工作ものづくり・競技かるた・手芸クラフト・プログラミング・クライミング・フェンシング・ドッジボール・取材活動・フライングディスク・地域活動
- ・活動頻度：週1回～月2回程度

取組の成果

【参加者数】

- ・13クラブ 延べ1,300人 参加

【成果と課題（アンケートより）】

- ・学校とは違う友達ができ、専門性の高い指導者に教えてもらった、部活動にはない新たな活動にチャレンジできた
- ・保護者が継続して送迎することができるのかの不安
- ・交通費を出して活動参加することや移動時間の負担感
- ・クラブごとに設定される会費等の費用面の不安

今後の取組における課題

- ・保護者の経済的負担の軽減策の実施
- ・コベカツクラブの登録状況や各クラブの活動方針、指導者について、生徒・保護者への周知の必要性
- ・生徒がスムーズにコベカツに移行するための各中学校での個別支援の必要性
- ・移動に関する自転車利用の課題整理（自転車通学の可否・交通安全指導）

課題への対応方針

- ・クラブが低廉な会費で継続的に活動を実施できるよう、「コベカツ推進条例」を制定し、コベカツに対する公費支援を位置付けるとともに、「コベカツ支援基金」を設置し、コベカツクラブの活動に不可欠な環境整備（照明設備や備品の更新等）に必要な財源を確保。
- ・保護者負担の軽減のため会費決済機能を備えた「コベカツサポート」システムを構築し、生徒1人1,500円/月（就学援助世帯3,000円/月）のポイント付与活動に必要な保険（スポーツ安全保険）費用800円/年の公費負担（2026年度予算化）
- ・各中学校におけるコベカツクラブ紹介（説明会・体験入会・掲示板の設置等）
- ・各中学校における生徒の放課後の過ごし方（コベカツ参加状況含む）の把握及び個別支援
- ・広報紙やコベカツ専用ホームページ等での情報発信の強化
- ・各中学校の事情に応じて、コベカツに参加する日に限定した自転車利用の可否の検討、交通安全指導の徹底

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組（オンライン研修システム及び団体管理システムの構築）

取組事項

【オンライン研修システムの構築】

多様な指導者が参画することから、それぞれのライフスタイルに合わせた研修の受講ができるよう、オンライン研修システムを構築した。理解度を認識できるよう、小テスト項目も検討し、実装した。

【団体管理システムの構築】

申請については、神戸市職員がノーコードでフォーマット作成できる、スマート申請システム（e-KOBE）を利用している。登録団体が1000を超えることを見据え、申請・審査・管理の利便性の向上の観点から、情報を蓄積し、管理できるよう「団体管理システム」を構築した。

取組の成果

【オンライン研修システムの構築】

令和7年度においては、これまで、教員及び部活動指導員が受講していた、①安全管理、②特別な支援を要する生徒への指導、③熱中症予防、④ハラスメント防止の項目を設定。研修後には小テストを実施し、一定点数を取らなければ終了できない仕様とした。

【団体管理システムの構築】

約1,100団体の情報を管理し、登録情報の一部をホームページ「コベカツクラブ活動紹介」として掲載するデータベースとなるシステムを構築できた。

初期段階として、審査機能は有せず、シンプルな形での対応として実装。

今後の取組における課題

審査は神戸市の申請基盤である「e-KOBEシステム」からCSV連携を行うが、その際に情報の整理、調整を経て「団体管理システム」に登録するという手間が生じていた。また、変更申請時には、複数のデータを参照して審査する必要があるが生じていた。当初より将来的には申請・変更申請・管理（データ蓄積）を一元化できるシステムの構築が必要と考えており、実施に向けて進めた。

課題への対応方針

【新システムの構築に向けた検討】

e-KOBE⇒連携の仕組みによる業務負担を解消し、さらに「新規申請」、「認定」、「変更申請」、「実績報告（ヒアリング）」、「事故報告」、「休止申請」、「認定取り消し申請」等に対応し、申請・審査・通知書出力等一元化できるシステム構築を検討。

令和7年度中にシステムの導入検討を開始。令和8年度前半のリリースに向けて、ログスウェア(株)による開発を進めている。先例的に事業を推進している神戸市において、今後、地域展開を検討している、他都市へ貢献ができるシステムの構築となると考えている。

クラブ運営支援システム

新規認定申請

1.応募資格 2.基本情報 3.連絡先 4.スタッフ 5.活動情報

ステップ5：活動情報

活動の内容・対象などを入力してください。

活動種別・種目  活動紹介ページに掲載

活動の方針  活動紹介ページに掲載

活動時期・頻度  活動紹介ページに掲載

神戸市立中学生以外の対象者  活動紹介ページに掲載

中学生の参加募集人数（上限）  活動紹介ページに掲載

募集エリア  活動紹介ページに掲載

© 2026 LOGOSWARE Corporation

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

①活動団体の確保、運営支援

- ・生徒のニーズに応じた活動団体の確保に向け、登録が少ない地域を中心に、コーディネーターによる団体掘り起こし、3回の募集を通じ、約1,100の活動団体を登録
- ・活動団体が円滑に運営できるようなサポート体制の構築として、各団体の運営支援・助言を行う「コベカツクラブ事務局」を2025年6月に設置。生徒・保護者が安心して参加できるよう、「安心・安全ホットライン」を開設。

②活動団体の管理システムの構築

- ・各クラブが受講するWEB研修・受講管理システムを構築
- ・団体の登録内容（活動内容、指導者登録等）を管理（確認・変更）できるシステムを構築

③活動場所（中学校）の環境整備

- ・セキュリティの確保や活動に不可欠な運動器具、照明設備や吹奏楽の楽器等、活動環境を整備

④生徒・保護者への情報発信

- ・コベカツの取組状況や各活動団体の登録状況等をわかりやすく発信するコベカツ専用ページを運用
- ・「コベカツ」のイメージの発信及び生徒の移動や連絡方法等の検証のため、18クラブを対象に実証事業を実施

●成果の評価

①活動団体の確保、運営支援：現在の部活動の主要な種目は、在籍校または自転車で行ける範囲の近隣校で活動を選べるように調整。中学1年生を対象に実施したアンケートでは、コベカツで部活動種目を続けたい又は新たな種目を始めたいと答えた生徒のうち、約8割は通える範囲にコベカツがあるという回答。

②活動団体の管理システムの構築：実証事業に参加する18クラブにWEB研修を実施。令和8年4月より全クラブに向けて順次研修実施。約1,100の登録情報についても管理するシステムを構築し、順次登録内容を公表。

③活動場所（中学校）の環境整備：活動団体の登録状況に応じて、全82校で環境整備を推進

④生徒・保護者への情報発信：クラブの登録状況について、地図や種目別・学校別一覧、各クラブの活動紹介ページ等、様々な検索ができるツールをコベカツ専用ページ（月平均 約30,000PV）に掲載。

●今後に向けて

■活動団体の確保、運営支援

上記アンケートの結果を踏まえて、第3次募集を実施したことで、さらに充足していると認識しているが、引き続き、きめ細かく丁寧に必要なコベカツクラブの確保及び運営支援を図っていく。

■会費による保護者の経済的負担軽減

- ・神戸市ではこれまで部活動費を支払う文化がなく、新たに生じる会費負担（平均約3,200円）が保護者にとって大きな負担感につながっている
- ・家庭の経済的な事情により、生徒の活動の選択肢が制限されることが無いよう、保護者の負担軽減につなげる「コベカツサポート」の構築・運用を進めていく
- ・クラブが低廉な会費で継続的に活動を実施できるよう、「コベカツ支援基金」の財源を活用したコベカツクラブの活動に不可欠な環境整備（照明設備や備品の更新等）を実施する

2.実証内容と成果④

参考資料



【Base Camp MAYA】



【スポーツクライミングクラブKOBÉ】



【西神戸フェンシングクラブ】



【コベカツクラブ活動紹介ページ画像（サッカー）】

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和3・4年度

国の「地域部活動推進事業」を活用したモデル事業（R3: 5校にて休日に専門指導員を配置、R4: 3校にて休日の活動を民間委託）を実施。
令和4年度「部活動あり方検討委員会」を設置し有識者との意見交換等を実施。

令和6年度

学校単位での部活動は限界を迎えており、子どもたちが将来に渡って活動できる機会を確保するため、令和8年度に平日・休日ともに部活動を終了し、コベカツを開始する方向性を発表。地域展開のスケジュールも公表した。

令和7年度

コベカツクラブの登録・管理・相談対応体制を構築し、活動団体の掘り起こしや立上げ支援を実施し、約1,100クラブが登録。中学校施設の環境整備を行い、スタッフが受講するWeb研修機能を構築し、一部のクラブで先行実施を行った。団体の相談及び、保護者からの相談に対応するため、「安心・安全ホットライン」を設置

令和3・4年度

あり方検討委員会の設置、検討開始

令和5年度

市独自で合同部活動のモデル実施

令和6年度

6月
「地域移行の考え方」発表
スケジュール公表

12月～
方針策定、活動団体の
第1次募集

令和7年度

コベカツクラブの
実証事業
相談窓口設置
環境整備

令和8年度

コベカツ
本格実施

令和5年

市単費での継続的な実施を検証するため、市独自でモデル事業（垂水区の5校にて休日の学校部活動を近隣校と合同実施）を実施。
生徒の移動について、週末においては、一定移動できることが実証された。

児童・保護者のニーズを把握するためアンケート調査を実施し、活動主体となる「コベカツクラブ」のあり方に関する方針を策定し、体験会の実施や戦略的な広報活動により取組の周知に努めた。令和7年1月～2月にコベカツクラブの第1次募集を行い、620団体に申請いただいた。

令和8年度

中学3年生の部活動引退等をもって部活動を終了。7月より各コベカツクラブの体験入会を経て、9月からコベカツを開始する。
会費決済機能・保護者とクラブとの連絡機能等を備えた「コベカツサポート」を構築し、運用を開始する。

3.今後の方向性

地域展開の推進に向けたロードマップ

